

四季報

セブン&アイ HLDGS.

SUMMER 2019

VOL.143



事業セグメントと主な事業会社

国内コンビニエンスストア事業

(株)セブン-イレブン・ジャパン
(株)セブン-イレブン・沖縄
(株)セブン・ミールサービス
(株)セブンネットショッピング
(株)セブンドリーム・ドットコム
SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC.
セブン-イレブン(中国)投資有限公司
セブン-イレブン北京有限公司
セブン-イレブン成都有限公司
セブン-イレブン天津商業有限公司

海外コンビニエンスストア事業

7-Eleven, Inc.

スーパーストア事業

(株)イトーヨーカ堂
(株)ヨークベニマル
(株)ヨークマート
(株)シェルガーデン
(株)サンエー
(株)丸大
(株)ライフフーズ
アイワイフーズ(株)
(株)ヨーク警備
(株)セブンファーム
イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司
成都イトーヨーカ堂有限公司
華糖ヨーカ堂有限公司
(株)ダイイチ
(株)天満屋ストア

百貨店事業

(株)そごう・西武
(株)池袋ショッピングパーク
(株)ごっつお便

専門店事業

(株)赤ちゃん本舗
(株)ロフト
(株)セブン&アイ・フードシステムズ
(株)ニッセンホールディングス
(株)バーニーズ ジャパン
(株)オッシュマンズ・ジャパン
タワーレコード(株)
(株)Francfranc



その他の事業

(株)セブン&アイ・ネットメディア
(株)セブン&アイ出版
(株)セブンカルチャーネットワーク
(株)セブン&アイ・クリエイティリンク
(株)セブン&アイ・アセットマネジメント
(株)八ヶ岳高原ロッジ
(株)テルベ
びあ(株)

金融関連事業

(株)セブン銀行
(株)セブン・フィナンシャルサービス
(株)セブン・カードサービス
(株)セブンCSカードサービス
(株)バンク・ビジネスファクトリー
(株)セブン・ペイメントサービス
(株)セブン・ペイ
FCTI, Inc.

セブン&アイHLDGS.

四季報 2019年・夏・通巻143号

代表発行人 井阪 隆一

発行 (株)セブン&アイ・ホールディングス
〒102-8452 東京都千代田区二番町8番地8
03-6238-3000(代表)

発行日 2019年5月(季刊)

©2019 (株)セブン&アイ・ホールディングス
Printed in Japan

各種手続用紙のご請求について

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、
下記の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも承っております。

電話(通話料無料) **0120-232-711**
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

ホームページアドレス <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

※「四季報」お届け先の住所変更につきましては、株主様ご登録住所の変更となりますので、口座開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。また、その他株式に関する各種お手続きにつきましても、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。



CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 改革を推進し、持続的な成長を目指す
～セブン・イレブン・ジャパン～

3 特集 新しい価値を見出す—— 進化し続ける 「セブンプレミアム」の今。

- 8 セブン&アイグループの環境宣言

- 9 News&Topics

- 12 セブン&アイグループの「SDGs」
北の大地で
ノーマライゼーションを実践する
——テルベの取り組み

- 14 パートナー企業とともに
新鮮で安全・安心な
原料野菜の安定調達に向けて

- 16 こだわりの産地を訪ねて
ショートケーキのような
和菓子をお届けします
「フルーツ大福」ごっつお便

- 18 2019年2月期 決算概況

いあいさつ

セブン&アイHLDGS.
代表取締役社長

井阪隆一

当社は、「お客様、株主の皆様、お取引先様、地域社会、社員」というステークホルダーの皆様へ信頼される誠実な企業であることを社是に掲げています。しかしながら、昨今のさまざまな環境変化に対応するためには「地球環境」と「未来世代」を加えて考える必要があると考えます。ブランド価値の向上と企業の持続的な成長のためには、地域社会はもちろんのこと、地球環境に根差した日常生活の豊かさ、安全安心、便利さなどを未来世代へ伝えるという視点が不可欠です。このような認識をもとに、セブン&アイグループは、『GREEN CHALLENGE 2050』と称し、「CO₂排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」の4つをテーマとした環境宣言を定めました。これにより、14万人を超える当社グループの従業員が、この宣言を指針として行動することで、事業目標を達成しながら、環境問題や社会課題の解決に実効性ある取り組みを進めていくことが可能になると考えています。

また、3月に世界18の国と地域のセブン・イレブンのエリアライセンスシーが一堂に会する「セブン・イレブン インターナショナルサミット」を東京で開催し、SDGsの達成に向けてパートナーシップを組むことに合意しました。さらに4月には神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。

これからもグループとしての連携や外部企業、自治体との協業を積み重ねながら、目標の達成を目指してまいります。

3月29日、セブン&アイHLDGS.合同入社式においてグループの一員としての心構えと熱いエールを新入社員へ送りました。



COVER STORY

セブン&アイグループの「お店のある街」をテーマとした表紙イラスト。今回から担当いただくのは、風景イラストから散歩や旅をテーマとしたイラストエッセイまで、各種広告・出版・WEBサイトなどで幅広く活躍するイラストレーター、本山浩子さんです。●その魅力は、版画のような温もりある風合い、風や香を感じる空気感。明るくやさしい色使いにも定評があります。●今号は、「初夏の横浜」をテーマに、そごう横浜店を中心に、横浜みなとみらいの街並み、氷川丸、山下公園、横浜中華街などを描いていただきました。

イラストレーション:本山浩子
WEBサイト:mh-art.com

「セブンプレミアム」の今。

進化し続ける

新しい価値を見出す

特集



改革を推進し、持続的な成長を目指す ～セブン-イレブン・ジャパン～

セブン-イレブン・ジャパンは、本年4月より代表取締役社長に永松文彦前副社長が就任するとともに、古屋一樹前社長が会長となる経営体制を発足いたしました。セブン&アイ・ホールディングスと密に連携しながら、加盟店支援の強化、社会構造や地域ニーズの変化に柔軟に対応する新たなビジネスモデルの創出などに全力を注いでまいります。

昨今、高齢化や世帯人数の減少、働く女性の増加といった社会構造の変化を背景にお客様ニーズの多様化が進み、地域社会におけるコンビニエンスストアの役割はますます高まっています。同時に、厳しい雇用環境が続き、店舗経営環境も地域や立地により多様化しています。こうした環境変化を受け止め、セブン-イレブン・ジャパンでは、きめこまやかな地域対応と効率性を両立して、新たな成長力を創出するため、新経営体制のもとでチェーン運営を根本から見直し、革新してまいります。

セブン-イレブン・ジャパン「行動計画」(2019年4月25日策定) 一部抜粋

① 出店基準の厳格化と既存店サポートの強化

新規出店に当たっては将来的な人口動態などを含めた立地環境の分析をよりいっそう精緻化するとともに、出店基準の厳格な運用を図り、既存店1店舗1店舗の経営基盤強化に注力してまいります。さらに、既存店の成長に資する設備投資をより活発に進め、セルフレジ、新検品システム、AI発注など先進テクノロジーの活用による店舗運営の省人化、生産性向上に取り組みます。

② ゼロベースでビジネスモデルを再点検する

加盟店様との共同事業としてのセブン-イレブン事業を、社会構造や市場環境の変化に即して育成すべく、過去の延長で発想するのではなく未来志向でビジネスモデルの見直しを進め柔軟なチェーン運営のあり方を模索してまいります。

③ 加盟店の皆様とともに

加盟店様の満足度向上につながり、安心して店舗経営に専念していただけるよう、環境整備と施策の拡充に今後とも力を注ぎ、加盟店様と一体となって新たな成長力を生み出すべく、未来志向で次のステップを切り拓いてまいります。

※全文は当社およびセブン-イレブン・ジャパンのWEBサイトに掲載しています。

セブン&アイ・ホールディングス WEBサイト

<https://www.7andi.com/company/news/release/1904251730.html>

セブン-イレブン・ジャパン WEBサイト

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2019/20190425.html



セブン&アイ・ホールディングス



セブン-イレブン・ジャパン



新社長略歴

氏名 永松 文彦 (ながまつ ふみひこ)
生年月日 1957年1月3日
出身地 東京都
学歴 1980年3月 東京経済大学 卒業
職歴
1980年3月 株式会社セブン-イレブン・ジャパン入社
2004年5月 同社執行役員
2014年3月 株式会社ニッセンホールディングス
代表取締役副社長

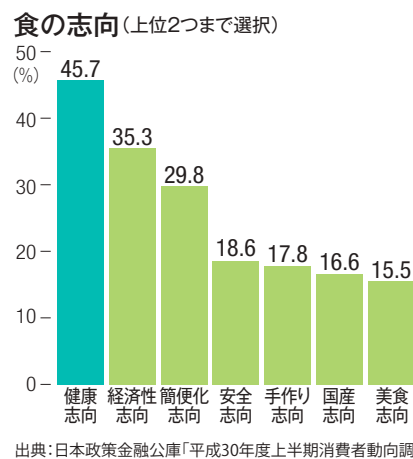
2015年3月 当社執行役員
2017年5月 当社執行役員人事企画部シニアオフィサー
2018年3月 当社執行役員人事企画本部長
2018年5月 当社取締役
2019年3月 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
取締役執行役員副社長
2019年4月 同社代表取締役社長(現任)

お客様ニーズに応える「健康商品」を

健康プロジェクト

お客様のニーズと社会課題に
応える新たな価値創造へ

超高齢社会に突入する中、とくに食における「健康志向」はますます大きな関心事となつていきます。健康を維持向上するためには、禁煙や減塩などに取り組みながら、筋肉や関節骨などを強化することが不可欠です。ところが、多くの人々はこうした健康に対する意識を持ちながらも、実際は慣れ親しんだ生活習慣を変えたり運動を始めたたりすることは難しいという感覚も持っています。



セブン&アイHLDGSは、お客様のニーズにより深く寄り添うとともに、環境問題や社会課題への解決を目指して2014年に「5つの重点課題」を策定しました。グループのプライベートブランド（PB）商品「セブンプレミアム」においても本業を通じた社会課題の解決として、人工添加物を極力使わない商品や塩分を減らした商品、1日に必要な野菜の2分の1が摂れる商品など多岐にわたり提案しています。

ライフスタイルに応じた
3つの商品軸を提案

今から2年前、当社は、健康関連商品の普及をさらに加速していくために、「セブンプレミアム」の開発部門に「健康プロジェクト」を設置し、約1年間にわたって市場調査を実施しました。その後、健康への配慮がとくに強く求められる「シニア」「子ども」、そして健康を意識しながらも家事にかけられる時間が

少ない「働く女性」を主要な顧客層と想定し、栄養成分を「加える」「減らす」「外す」という3つのコンセプトを商品ごとに設定。それぞれの健康維持・向上に対応した取り組みを開始しました。

これによって、 unnecessary 添加物をどの世代向けでも極力低減・排除するとともに、たとえば骨粗しょう症になりやすい高齢女性や発育盛りの子ども向けの商品にはカルシウムを加え、シニアや女性向けの商品では糖質や脂質を減らすなどの工夫をしています。さらに、働く女性に向けては、必要な栄養成分に加え、手間や時間をかけずにすむ簡便商品の開発にも注力しています。

商品開発は、加工肉や和惣菜、菓子など50品目からスタートし、店頭での反応などを確認しながら品目を追加変更するなど、柔軟かつ継続的にお客様の健康ニーズに対応しています。

「売場」「表示」を工夫して
おいしさや手軽さを訴求

どんなに健康的な食品を開発しても、それを実際に手に取っていただき、食べて「おいしい」と感じていただかなければ、日々の食生活を通じた健康維持・向上という目的を達成することはできません。一方で、塩分や糖質を抑えたり、

顧客層に対応した主な施策			
	働く女性	シニア	子ども
加える	食物繊維・野菜		
	鉄分 良質なタンパク質	カルシウム 良質なタンパク質	カルシウム
	時短		
減らす	塩分		
	糖質		
	脂質の過剰摂取		
外す	人工添加物（ unnecessary 添加物は極力低減・排除）		

なくすといった健康配慮食品に対して、多くのお客様が「味がうすい」「食べごたえ・飲みごたえがない」というマイナスイメージを持つことも事実です。

そこで、イートヨーカドーでは、新商品や旬の素材を使った新しい食べ方や料理のアイデアを提案するクッキングサポートコーナーを活用。実際の商品を試食いただき、健康とおいしさを両立させた商品の魅力を訴求しています。

また、パッケージの裏面に加えて、表面の商品名の近くにも含有されている栄養成分を表示。「食物繊維がレタス1個分」など一般的なにもわかりやすい単位で明示しています。

セブン&アイグループは、これからも「セブンプレミアム」の開発軸の一つとして健康をとらえ、お客様お一人おひとりの志向やライフスタイルに寄り添った健康関連商品を提案していきます。



カルシウムや鉄分を増やした商品。



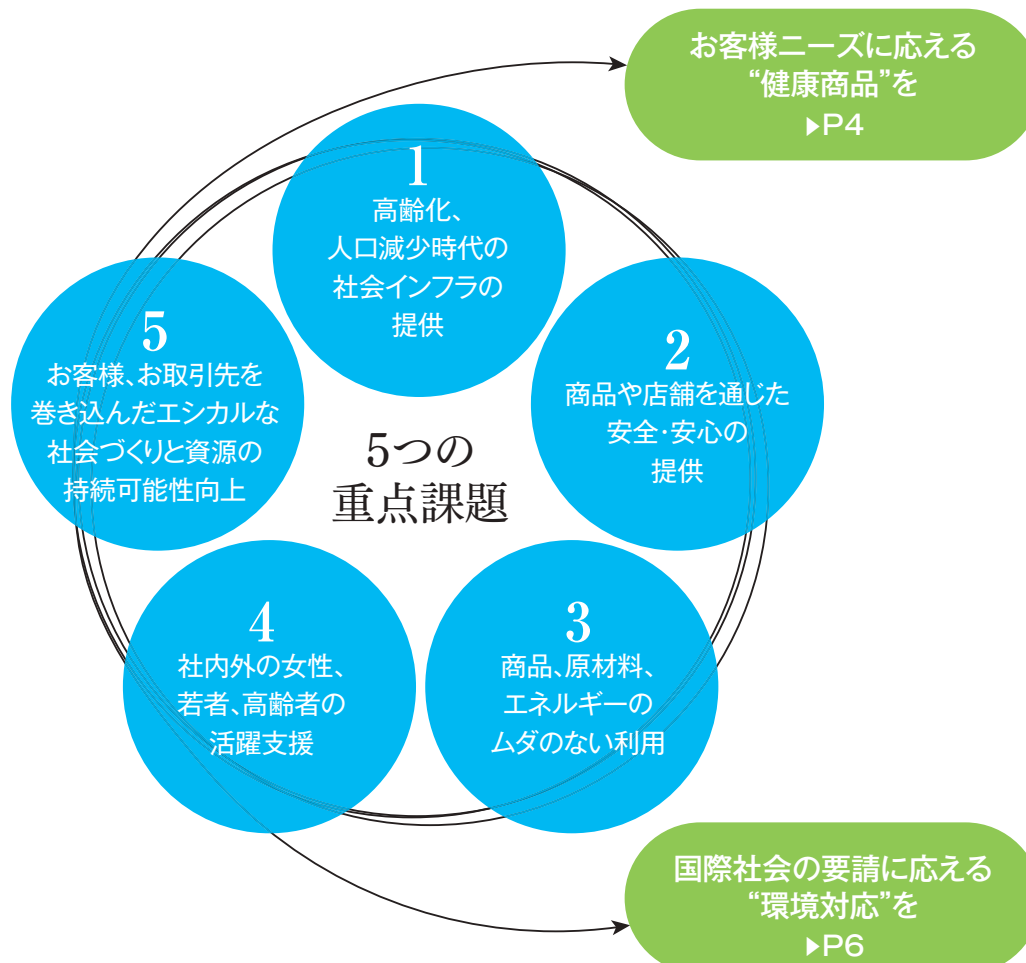
従来より塩分を減らした漬物。



ひと目でわかりやすいパッケージ。



unnecessary 人工添加物を極力外した加工肉。



国際社会の要請に応える「環境対応」を

「資材・包材」、そして「原材料」へ

PB商品の全包材を 環境配慮型に

地球環境問題は、人類が解決すべき喫緊の課題です。その解決のためには、世界各国・各地域の環境規制に対応するだけではなく、生活者一人ひとりが身近な問題から自主的・継続的に取り組みを推進することが重要です。

こうした課題意識のもと、セブン&アイグループは、お客様の生活に身近な衣・食・住の商品を数多く取り扱うPB商品「セブンプレミアム」において、早くから環境配慮の取り組みを実施し、お客様の関心に応えてきました。

その柱の一つが、環境に配慮した包材の活用です。「セブンプレミアム」は、発売当初から包材の使用量を削減するシンプルなパッケージを追求し、2014年からはチルド飲料の紙容器にセブン・イレブン記念財団による森林保全プロジェクトである「セブンの森」の間伐材を採用。以来、間伐材だけでなく、消費電

力の多いアルミ箔を使用しない新パッケージの採用やリサイクルPETを用いたフィルムラベルの使用、バイオマスインキを用いた印刷方法の採用など、年々、代替容器の素材数とともにアイテム数も増やしてきました。

また、2016年には、これら取り組みをより計画的に進めていくために、「2019年に全アイテムで環境に配慮した素材（環境素材）を1つ以上取り入れた資材・包材を活用すること」とさらに「2030年に全アイテムにおいて環境に配慮した素材をすべて取り入れた資材・包材を活用すること」という目標を掲げ、環境対応の代表的な指標であるCO₂排出量の着実な削減に貢献しています。

持続可能な原料使用を推進

現在、「セブンプレミアム」の取り組みは、地球環境に配慮した包材活用に止まらず、商品そのものの持続可能性の

追求へと広がっています。

昨今、企業の事業活動や商品開発が環境・社会にもたらす影響を見極め、品質やコストと同等以上に商品の購入動機として優先する「エシカル消費（倫理的な消費）」が注目を集めています。こうした傾向は従来、企業間取引において環境に配慮した資材を優先的に調達する「グリーン調達」などで見られましたが、1980年代から2000年代に生まれた、いわゆるミレニアル世代と呼ばれる消費者の間ではそうした価値観が個人にまで広がっており、今や多くの世代に拡大。生活に身近な領域においても「サステナビリティ（持続可能性）」を反映した商品の有無が経営を左右する時代となっています。

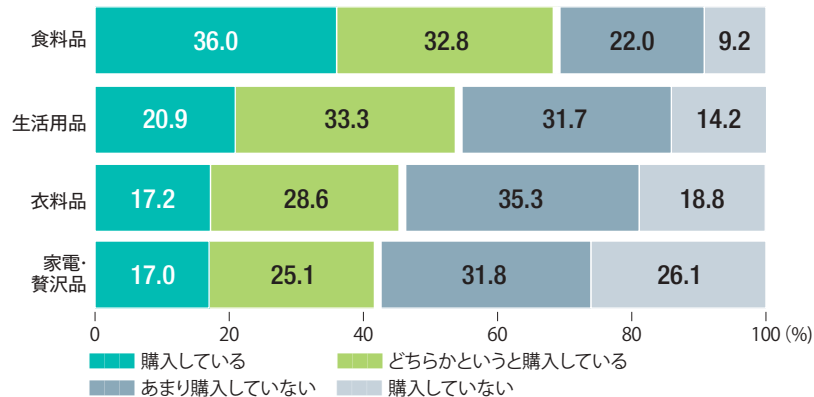
こうした中、セブン&アイグループは商品の原材料の持続可能性を追求した商品開発に注力しています。その代表例が「MSC認証」を取得した適切に管理された持続可能な漁業から調達した水産物です。これら認証取得商品は、2018年の発売以来、多くのお客様から好評を博しています。

資材包材に始まり、原材料。セブン&アイグループは、これからもお取引先様とともに地球環境に配慮したパッケージ開発・商品開発に注力し、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様と持続可能な豊かさをわかち合っていきます。



包材だけでなく、商品の原材料もFSC認証取得したものを使用。

エシカル消費の意識



オーガニックコットン

3年以上化学剤を使っていない畑で、農薬や化学肥料を一切使用せずに栽培された綿花（オーガニックコットン）を使用し、インナーとして商品化しています。OCS認証を受けた、環境にも人にもやさしいインナーです。



FSC認証®

国際機関FSC (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) の定める、責任ある森林管理や木材加工・流通プロセスの基準に基づき認証されたFSC認証紙を用いて、紙カップ・紙皿・ティッシュなどの商品を開発しています。



MSC認証

MSC認証とは、適切に管理され、環境に配慮した「持続可能な漁業」に認められた認証で、2018年10月から「MSC認証商品」を販売しています。



バイオマスプラスチック

有機物（植物等）由来資源を構成成分に含む、プラスチックのことです。（一社）日本有機資源協会のバイオマスマークはバイオマスプラスチックを一定量以上含んだ製品に付けられます。認定素材を用いて、ストローなどを開発しています。



「セブンプレミアム」の包材における環境対応イメージ

Replace

森林認証紙
適切に管理された森林資源を使用した紙

※SGEC（緑の循環認証会議）から掲載の許可を取得しています。

間伐材
森林を健全に保つため間引きした木材を使用した紙

Reduce

バイオマスインキ
印刷するインキに植物由来樹脂を添加

バイオマスフィルム
フィルム素材に植物由来樹脂を使用

薄肉化
資源の使用量削減

環境対応ラベル
環境対応インキ、リサイクルPETなどを用いたラベル

Recycle

脱アルミ箔
リサイクル可能な紙バックへ変更

リサイクルPET
ペットボトルをリサイクルしたフィルム

News & Topics

各社からのニュースをお届けします

SUMMER 2019

CLOSE UP 2

企業情報

3月29日

セブン&アイHLDGS.

セブン&アイHLDGS.合同入社式を開催 ーグループ20社 987名が入社ー

セブン&アイHLDGS.は、3月29日、「セブン&アイHLDGS.合同入社式」を東京都内のグランドプリンスホテル新高輪で開催しました。今年は、グループ20社987名が入社し、社会人としての第一歩を踏み出しました。

セブン&アイHLDGS.合同入社式は、1977年以来、新入社員の門出を祝つと

ともに、セブン&アイグループとしての一体感を表す伝統的な行事です。セブン&アイHLDGS.井阪社長より、「創業当時から理念である、信頼と誠実を大切に、おかげさまの気持ちで仕事に励んでほしい」と伝え、新入社員代表は、「接客」でお客様に感動を伝えたい」と誓いの言葉を述べました。



グループ22社の社長とご来賓も出席。



新入社員代表の「誓いの言葉」。

CLOSE UP 1

受賞

3月7日

セブン・イレブン

セブン・イレブンアプリが 「日本ライフスタイルアプリダウンロード数ランキング」で1位に

セブン・イレブンアプリが「App Annie Top Publisher Awards 2018」(主催: App Annie社※1)において「2018年日本ライフスタイルアプリダウンロード数ランキング」で1位にランク。年間を通じてアプリ市場の成長に貢献した企業として評価されました。本アプリは2018年6月にセブンマイルプログラムの開始とともにリニューアルし、2019年4月末時点で1177万ダウンロードを突破しました。

また、本アプリは「App of the year 2018」(主催: フラー(株)※2)でも、社会的に関心の高いアプリとして優秀賞を受賞しました。今後さまざまな機能を備えたアプリの開発を通じて、より便利で魅力あるサービスを提供していきます。



セブン・イレブン執行役員デジタル・サービス本部長宮地正敏(左)とApp Annie日本代表ディレクター 向井俊介氏。

App Annie

セブン&アイグループの環境宣言 『GREEN CHALLENGE (グリーンチャレンジ) 2050』を策定

2019年5月、セブン&アイHLDGS.は社会ニーズの変化や環境問題など、さまざまな社会環境の変化に対応するため、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定めました。

「脱炭素社会」「循環経済社会」「自然共生社会」の実現のために、2050年までの具体的な目標を4つのテーマで設定しています。さらなる環境負荷の低減を推進し、未来世代につなぐ豊かな地球環境の保全に向けて、すべてのステークホルダーの皆様とともに取り組んでいきます。

4つの 取り組みテーマ	2050年の目指す姿
CO ₂ 排出量 削減	グループの店舗運営にともなう排出量80%以上削減(2013年度比)。 自社の排出量(スコープ1・2)のみならず、スコープ3を含めたサプライチェーン全体での削減を目指す。
プラスチック 対策	オリジナル商品(セブンプレミアムを含む)で使用する容器は、環境配慮型素材(バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙など)100%使用。
食品ロス・ 食品リサイクル 対策	食品廃棄物を発生原単位(売上百万円あたりの発生量)75%削減(2013年度比)。 食品廃棄物のリサイクル率100%。
持続可能な 調達	オリジナル商品(セブンプレミアムを含む)で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料100%使用。

『GREEN CHALLENGE 2050』WEBサイト
https://www.7andi.com/csr/g_challenge.html



神奈川県と「SDGs」に 関する協定を締結

2019年4月17日、セブン&アイHLDGS.は、神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。連携事項は「エネルギーの地産地消」「プラスチックごみゼロ」「未病改善」「共生社会の推進」「SDGs推進」など5項目です。セブン&アイグループは、神奈川県が掲げる「かながわSDGs取組方針」をふまえながら、日常での多様な消費者とのつながりを活かして「かながわブラゾミゼロ宣言」など、さまざまな啓発活動や実践的な取り組みを推進していきます。



締結式に出席したセブン&アイHLDGS.井阪社長(左)と神奈川県知事 黒岩祐治氏(右)。

世界のセブン・イレブン、 「SDGs」達成に向けた パートナーシップを締結

2019年3月、世界18の国と地域のエリアライセンスシーが一堂に会する「セブン・イレブン インターナショナルサミット」を東京で開催しました。会議では、日本におけるオリジナル商品開発など各国の取り組み事例を共有したほか、セブン&アイHLDGS.の井阪社長がSDGsの達成に向けたグループの取り組みについて講演しました。各エリアライセンスシーがビジネスはもとより、環境社会課題の解決に向けた取り組みもテーマとすることに合意しました。



2019年「セブン・イレブン インターナショナル東京サミット」でSDGs取り組みの共同宣言に署名。

受賞

1月29日

ハケ岳高原ロッジ

「第7回みどりの社会貢献賞」において「特別賞」を受賞

そごう・西武の別荘地「ハケ岳高原ロッジ」は、公益財団法人都市緑化機構が主催する「第7回みどりの社会貢献賞」において「特別賞」を受賞しました。これは緑地の良質な管理運営や保全に関する活動を評価するもので、「地域社会への貢献」「環境改善への貢献」「先進性・広域性」を基準に選定されています。ハケ岳東麓の荒れた牧場跡地に33万本の木を植え別荘地を開発し、自然と人と文化が共生する、次世代につながる豊かな緑地づくりに取り組んできたことが評価されました。



約55年前に33万本の木を植えた「ハケ岳高原海の口自然郷」。

受賞

2月1日

そごう・西武

「温暖化配慮行動計画書制度」において「優秀賞」を受賞

そごう・西武は、東京都千代田区内にある従業員300人以上の事業所を対象に2011年度より義務づけられている「温暖化配慮行動計画書制度」において、「優秀賞」を受賞しました。これは、各店舗で日頃から積極的に実践している「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの取り組みが評価されたものです。

今回は、2011年度の「環境教育部門賞」、2012年度の「最優秀賞」に続き、3度目の受賞となります。今後も全従業員で環境活動の推進に努めていきます。



左から、そごう・西武 CSR・CSV推進室SO 加納澄子（現そごう千葉店）、そごう・西武 取締役常務執行役員 荒金薫、千代田区区长 石川雅己氏。

企業情報

2月28日

7-Eleven, Inc.

インドのFuture Retail Ltd.の子会社とマスターフランチャイズ契約を締結

7-Eleven, Inc.は、インドで小売事業を展開するFuture Group of Future Retail Ltd.の子会社とマスターフランチャイズ契約を締結し、2020年内にインド初のセブンイレブンを開店します。新規店舗の開拓に加え、Future Groupが運営している小売店舗の一部をセブンイレブんに転換。世界共通の人気商品を揃えるほか、地元の嗜好に合わせた即食性のある商品を展開する計画です。

今回のインドへの出店により、セブンイレブンの展開エリアは18の国と地域に広がります。今後も日米両社の連携を軸に、既存地域・新地域双方でグローバル戦略を推進していきます。



左から、セブン&アイHLDGS.井阪社長、7-Eleven, Inc.デビント社長、Future Groupピアニ会長、セブンイレブン古屋会長。

12月のトピックス

資本提携

1月31日 セブン銀行

TORANOTECU 資本提携契約を締結

セブン銀行は、資産運用とアプリ開発運営を行うフィンテック企業のTORANOTECU（トラノテック）（株）と、資本提携契約を締結しました。両社は、おつりやポイントを投資できる「リアルおつり投資」の実証実験プロジェクトなどを通し、ともにイノベーションを追求してきました。今後も、魅力的なサービスに発展させていきます。

新会社情報

株式会社
マロンスタイル



代表者名：代表取締役社長 栗林正樹
所在地：大阪府大阪市北区
中崎2-1-4 嵩野ビル301
資本金：1,000万円
資本比率：株式会社ニッセン 100%

OPEN情報

3月5日(火)

デニース エミオ田無店
東京都西東京市田無町4-1-1
エミオ田無3階

3月8日(金)

ヨークベニマル仙台中山店
宮城県仙台市青葉区中山7-1-60

3月15日(金)

イトーヨーカドー食品館千住店
東京都足立区千住3-2

前橋ロフト

群馬県前橋市文京町2-1-1
けやきウォーク前橋1階

3月16日(土)

錦糸町ロフト
東京都墨田区江東橋4-27-14
錦糸町パルコ6階

タワーレコード錦糸町パルコ店

東京都墨田区江東橋4-27-14
錦糸町パルコ5階

3月20日(水)

Francfranc 松坂屋名古屋店
愛知県名古屋市中区栄3-16-1
松坂屋名古屋店 南館2階

3月27日(水)

イトーヨーカドー食品館厚木店
神奈川県厚木市田村町1-26

セブン&アイグループの「SDGs」

SDGsと本取り組みの関係



北の大地でノーマライゼーションを 実践する テルベの取り組み

全重協「障害者活躍企業」
認証で第1号の認証企業に

社会が持続的に発展していくためには、性別や年齢、障がいの有無などにかかわらず、すべての人が特性や能力を活かしてイキイキと活躍できる場を広げていくことが重要です。北海道北見市に本社を置くセブン&アイHLDGSの特例子会社である株式会社テルベも、そうした理念のもとで事業を展開しています。

テルベは、重度障がい者や高齢者の活躍の場を拡大していくことを目的に、セブン&アイグループの4社と北見市の共同出資により1994年に設立されました。テルベとはフランス語で「緑の大地」を意味します。同社は、2017年に全国重度障害者雇用事業所協会（全重協）が実施した「障害者活躍企業」認証において、第1号として認証を取得。従業員一人ひとりの障がい特性に配慮した雇用管理や職場環境づくりは、社会的に高い評価を受けています。



障がい者、高齢者、健常者が
協力して2つの事業を推進

本社には、障がい者20名、健常者9名



「学生時代はバイオ関連の研究をしていました。その経験を活かせる仕事を探す中でテルベに就職しました。まだ“学びながら”という状態ですが、念願がかない、やりがいを持って取り組んでいます」（椎茸事業部）



と、シルバー人材センターから派遣されている高齢者15名が勤務。部署の管理職やリーダーを務める障がい者もおり、全従業員が協力して2つの事業を行っています。

一つ目の椎茸事業は、3棟のハウスでの菌床栽培で肉厚の椎茸を毎日生産。年間100トン以上出荷しており、「てるべえ」ブランドとして道内のイトーヨーカドーで販売されています。また、グループの社員食堂や地域の学校給食などにも食材として供給され、その品質の高さから北海道きのこ品評会で奨励賞を受賞しています。

二つ目の印刷事業は、セブン&アイグループで使用する帳票類やPOP、チラシ、名刺、ポスター、小冊子などの印刷

本社の従業員数

（2019年4月末現在）

	印刷事業部	椎茸事業部	総務部	合計
知的障がい者	6	6	—	12
身体障がい者	下肢障がい者	4	—	4
	聴覚障がい者	—	3	3
	内部障がい者	—	1	1
健常者	4	3	2	9
				29

※上記のほか、イトーヨーカドーからの出向者2名、東京事業所に6名（うち知的障がい者1名）が在籍。

家族・地域とのつながりの中で
あるべき姿を追求し続ける

テルベでは、すべての従業員が精神的かつ経済的にも「自立した生活」を送るための環境づくりに取り組んでいます。とくに障がいのある従業員に長く働いてもらうための職場環境の整備も重要です。

たとえば障がい者の採用は、地域の特別支援学校と連携し、6週間の職場実習を設けています。その後に、業務への適性を相互に確認します。また、「定着会議」を毎月開催し、障がいのある従業員一人ひとりの状況を共有しています。健常者従業員は「障害者職業生活相談員」や「ジョブコーチ」などの講習・研修を受け、個々の障がいの特性や

「印刷物は重さもあるので、運んだり積んだりするのは大変ですが、だいぶ慣れてきました。工夫してやり方を変え、効率良くできるようにがんばっています」（印刷事業部）



「つくった商品がお店で売られているのを見ると、とてもうれしいです。仕事は楽しいです。初めは難しいと感じることもありました。いろいろ経験して今は仕事のスピードも速くなりました」（椎茸事業部）



を中心に、北見市内の幼稚園や小学校から文集などの制作・印刷も請け負っています。また、水なし印刷やFSC認証紙の取り扱いなど、環境に配慮した取り組みを進めています。

状態に応じて適切に対応できるよう努めています。さらに、障がい者本人と家族、グループホーム、テルベによる「4者面談」も年に2回実施することによって、自立を支援しています。

ノーマライゼーションの実践企業として、地域の学校や他企業からも毎年多くの見学者が訪れているテルベ。これからもノーマライゼーションの理念を社会に向けて発信し続ける企業を目指します。

株式会社テルベ 会社概要

代表者 代表取締役社長 藤本 圭子
設立 1994年3月
資本金 4億円
資本構成 イトヨーカ堂:54%
セブン・イレブン・ジャパン:25%
セブン&アイ・フードシステムズ:10%
ヨークベニマル:10%、北見市:1%
事業内容 椎茸栽培、一般印刷・コピーサービス
従業員数 29名
本社 北海道北見市富里222-1
東京事業所 東京都千代田区二番町8-8



収穫されたリーフレタス

美味タス（レタスとリーフレタスの混合種）、フリルアイス、インベーションレッドグラスの3種類のリーフレタスを栽培。ビタミンCの含有量は露地栽培品の2～3倍。



デリカ製造工場

ベジタブルプラントで栽培されたリーフレタスは、収穫後すぐに隣に建つデリカ製造工場へ。このラインでは獲れたての新鮮なリーフレタスを使いサラダを製造。



パートナー企業とともに

セブン・イレブン専用工場と一体型の「ベジタブルプラント」が稼働

新鮮で安全・安心な 原料野菜の 安定調達に向けて

プライムデリカ(株)が 相模原市内に設立した 「ベジタブルプラント」

セブン・イレブンでは、全国2万店を超える店舗で、ファストフードをはじめとする高品質なオリジナル商品をお客様に提供するために、差別化された商品開発を進めています。すぐれた技術で商品の開発・製造をしていただいているパートナー企業の方々は、「お客様によりおいしい商品を提供したい」という思いを共有し、こうした取り組みを支えていただいています。プライムデリカ(株)はセブン・イレブンのパートナー企業として、全国11エリアの製造拠点で、パスタやサラダ、惣菜、調理パン、スイーツを開発・製造していただいています。

2019年1月、このプライムデリカがセブン・イレブン向け商品専用の野菜工場「相模原ベジタブルプラント」の稼働を開始しました。6階建ての建屋内には約340㎡の栽培室が11室あり、第1期の稼働となる今回は、このうち2室で3品種のリーフレタスを生産しています。「LED光制御技術」を活用し、露地栽培なら約70日かかるリーフレタスの栽培日数を38日に短縮しているほか、露地栽培品の2～3倍のビタミンCを含有する栽培技術を確立。さらに、種まきから収穫までの全工程に自動化技術を導

ともに成長し続けていくために 商品の開発・提供に挑戦しています



プライムデリカ(株)
代表取締役社長
齋藤 正義 氏

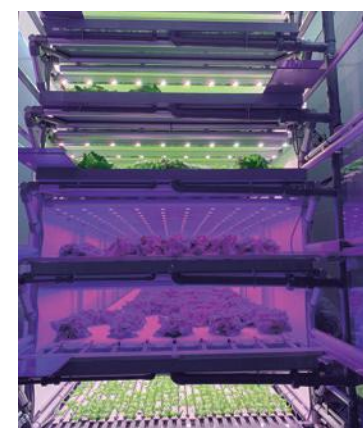
原料となる野菜の安定調達を目指して

当社は設立以来、セブン・イレブン様のパートナーとして、高品質・高付加価値商品の開発・生産に努めてきました。その中でも野菜については、国内の農業就業人口の減少と頻発する異常気象などが相まって、安定的に調達することが年々難しくなっています。とくに天候の影響を受けやすいレタスなどの葉物野菜の調達は課題となっていました。

商品の安定供給を実現したいとの思いから自社工場での野菜生産を検討し始めたのは2012年のことです。まったく未知の世界でしたが、さまざまなネットワークを辿ってパートナーを探し、独自のLED光制御技術を研究する玉川大学様、高度な自動化技術を持つ安川電機様と出会うことができました。そして、約6年をかけて試行錯誤を続けた結果、ようやく自分たちの理想とする野菜工場を形にすることができました。

入し、生産プロセスの効率化にも成功しています。

また、ベジタブルプラントは隣に建つデリカ製造工場と専用通路で結ばれているため、外気に触れることなく、安全・安心で新鮮な野菜をすぐ商品に加工することが出来ます。



ベジタブルプラント内の栽培室ではLEDの光を当ててリーフレタスを栽培。

価値観を共有してさらなる成長を

ベジタブルプラントで収穫したレタスは隣のデリカ製造工場です。サラダなどに加工し、セブン・イレブン様の店頭並びびます。生産する場所と加工する場所が直結していることから、今までは、加工時に鮮度面などの理由から商品として使用できなかった部分もありましたが、それも大幅に減り、昨今問題になっているフードロス削減にも寄与しています。

来年初の本格稼働を目指して、現在は発芽率の向上などに取り組むとともに、自動搬送ロボットの導入や収穫作業の自動化など、生産能力の拡大に向けた検証も進めています。また、ハウレンソウやイチゴ、パクチーなどへ生産品目を拡大することも検討中です。

このプラントは当社のビジネスモデルを大きく変革するだけでなく、セブン・イレブン様向け商品専用の初の野菜工場として高い注目を集めており社員のモチベーション向上にもつながっています。これからもセブン・イレブン様と「よりおいしい商品の提供によつて企業価値を向上させる」という価値観をしっかりと共有して、チャレンジを続けたいと思います。



大福づくりはすべて手作業。ベテランのスタッフさんたちの手が魔法のように動いて、大福が次々と生まれていきます。

口に含むと「うわっ」と驚きの声がかかるほど、大福がふわっふわで柔らかく、マシユマロとつきたての餅を足したような初めての食感です。
ゴロンッと入っているみずみずしい黄緑色のキウイの大福は「ごっつお便」のオリジナル。中に入っているホイップクリームと合わせて、さらにふわっふわになり、キウイの適度な酸味、キウイ果汁でのばした白あんの甘みとコク。それらが口の中で絶妙に溶け合います。「ショートケーキのような、ほかのど



とろとろな大福の生地は餅粉に泡立てた卵白を加えてつくります。

こにもない新しい和菓子をづくりたかったのです」。目を輝かせながらそう話すのは、養老軒社長の渡辺幸子さん。
「以前は、この地域には名産品といえるようなものがありませんでした。そこで和菓子と洋菓子が融合したような新しいお菓子をつくれれば、もっと若い人にも食べてもらえるのではないかと考えたのです」
ところが「生地よりも柔らかいクリームを包めるわけがない。和菓子の常識ではありえない」と反対を受けます。何度試作を重ねても、大福の生地ホイップクリームを包むことができません。そこで思いついたのがクリームよりも柔らかい生地をつくり、果物を一緒に入れることです。生地の上にホイップクリームを絞り、その上に果物、さらにあんをのせる。生地は極限まで



まず、大福の生地にホイップクリームをたっぷりとのせます。クリームは生地との相性の良い植物性のものを使っています。



ふる一つ大福をはじめ、生どらやきなど、和と洋が融合した新しいお菓子を製造販売する「養老軒」。すぐ隣にはカフェもあり、他県からお客様がやってきます。

柔らかくして、くるくるっと伸ばしながら中身を包んでいけばいい。この工程にたどり着くまでに幾度となく試作を重ねてようやく完成しました。こうして人気の絶えない養老軒の「ふる一つ大福」が誕生し、今となつては地元の名産として親しまれています。
ごっつお便オリジナルの「フルーツ大福」は、その時期の旬のフルーツを召しあがっていただきたいという思いを込めて、キウイの大福（6～11月）、イチゴの大福（12～5月）の2種類をご用意しました。和菓子の確かな技術に旬のフルーツを加えた、新しいおいしさをぜひお確かめください。
※ごっつお便のオリジナル商品は「フルーツ大福」、養老軒の商品は「ふる一つ大福」と表記しています。

「ごっつお便」

TSコース（税込4,104円）～TGコース（税込54,324円）までの8コースをカタログギフトでご用意しています。WEBでお申し込みいただけるネット専用の「e.ごっつお便」も便利です。また、ショッピングサイトe.デパートでもご購入いただけます。

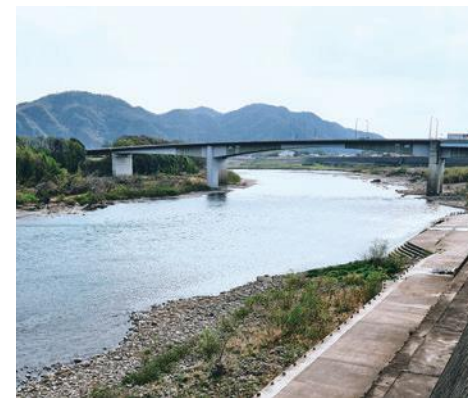


- お問い合わせ先
ごっつお便センター TEL. 0120-537-527
- ショッピングサイト e.デパート
<https://edepart.omni7.jp/brand/000422>



大福の生地、クリーム、大粒のフルーツ、そして最後に果汁が入った白あんをのせて、やさしく包みます。

「選ぶ楽しみ、味わう喜び。おいしい感動をあの人へ。」をコンセプトに、贈られた人が選べるそうこう・西武のグルメ専門カタログギフト「ごっつお便」。ふるさとの味や季節の旬、名店の味など、食品バイヤーイチオシのこちそうを選ぶことができます。選べるコースは全8種類あり、引き出物やプレゼント、中元・歳暮、返礼品など、さまざまなシーンで使われています。
ごっつお便の今期最新号に、岐阜県川辺町にある養老軒の「フルーツ大福※」が登場しました。養老軒といえばイチゴやバナナ、栗の甘露煮が入ったふわふわの「ふる一つ大福」が全国的に有名です。「このふる一つ大福をごっつお便のオリジナル商品としてぜひ、取り扱いたい」という強い思いでバイヤーは何度も現地に足を運びました。



太田宿の裏手には木曾川が流れています。川辺町を流れる飛騨川は、木曾川の支流の一つです。

岐阜県賀茂郡川辺町

岐阜県南部に位置する川辺町は、名古屋市と岐阜市からほぼ等距離にあります。町の中央を南北に飛騨川が流れる、水と緑に恵まれた町です。



「フルーツ大福」
ごっつお便

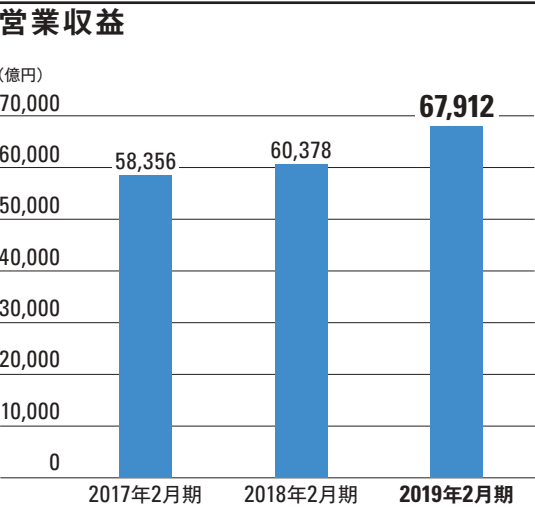
こだわりの
産地を訪ねて

ショートケーキのような
和菓子をお届けします

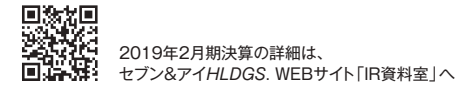
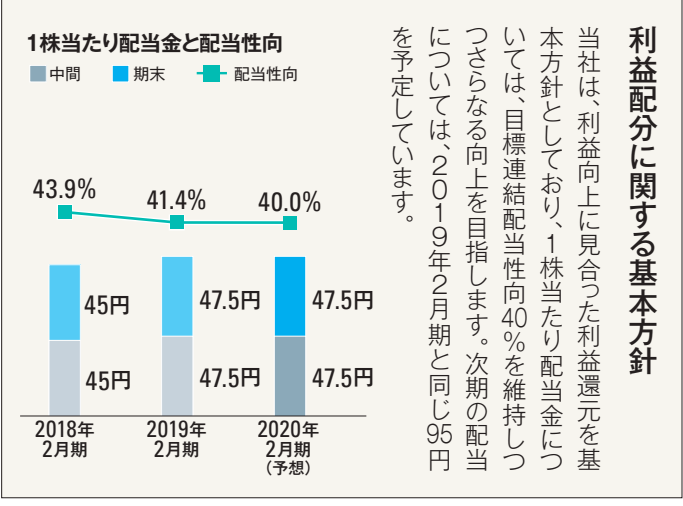
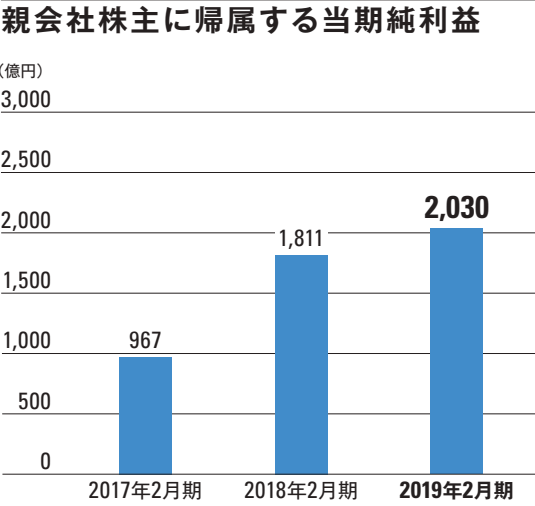
主に海外コンビニエンスストア事業が好調に推移し、
営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益が過去最高を記録

当期の概況
当連結会計年度における国内経済は、緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費においては依然として先行き不透明な状況が続いており、お客様の選別の目はいっそう厳しくなつてきています。
このような環境の中、当社グループはさまざまな社会環境の変化やお客様の心理変化をとらえ、付加価値の高い商品および地域の嗜好に合わせた商品の開発を推進するとともに、接客の質を改善するなどお客様満足度の向上に取り組みました。
セグメント別では主に海外コンビニエンスストア事業の増益が全体を牽引し、これらの結果、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、連結会計年度としてそれぞれ過去最高の数値を達成しました。
また、セブン・イレブン・ジャパン（7-Eleven, Inc.）における加盟店売上を含めた「グループ売上」は、12兆180億4百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

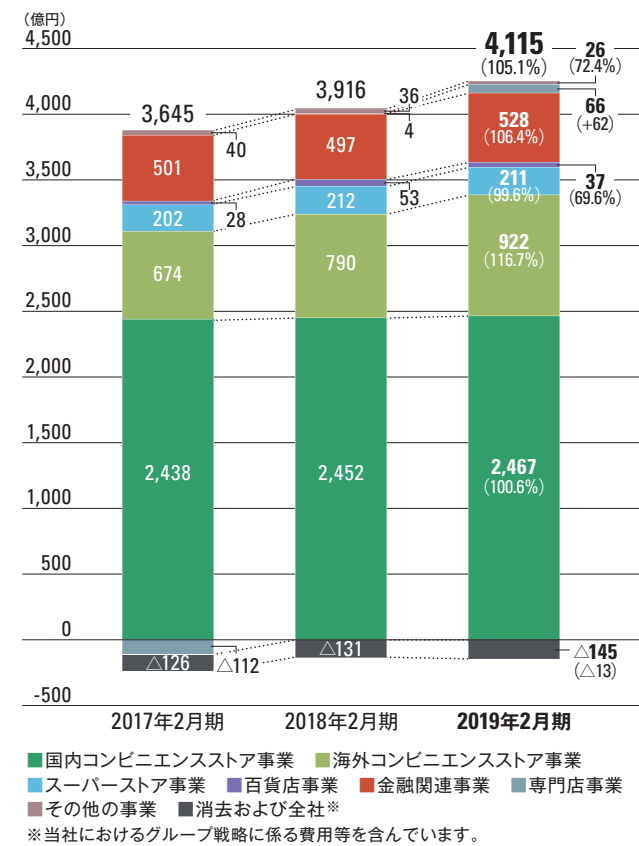
次期の見通し
国内経済は引き続き緩やかな回復が期待されるものの、本年10月には消費税率の引き上げが予定されているなど、個人消費



は依然として先行き不透明な状況が想定され、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動影響にも留意する必要があります。
当社グループは、最終年度である2020年2月期に、営業利益4500億円、ROE10%を目標とする中期経営計画を、2016年10月に発表しました。しかしながら、足元の厳しい事業環境下では計画進捗の遅れを回復することは困難であると判断し、2020年2月期の営業利益目標を4200億円としました。なお、当該計画のうち数値目標以外の重点施策においては、引き続き「成長事業の強化」および「構造改革事業の改善」を戦略の柱に据え、中長期的企業価値の向上と持続的成長の実現に努めていきます。



セグメント別営業利益〔（ ）は前年同期比または前年同期差／グラフ上部の数値は連結営業利益〕



■金融関連事業
金融関連事業は、ATM事業における期間総利用件数が前年を上回ったことに加え、電子マネー事業やクレジットカード事業も好調に推移し、増益となりました。

■専門店事業
赤ちゃん本舗、ロフト、セブン&アイ・フードシステムズなどの営業利益は前年を上回り、ニッセンホールディングスは引き続き事業構造改革の推進に注力した結果、前年同期と比べ営業損失が縮小しました。

■消去および全社
当第2四半期より本格稼働したグループCRM（顧客関係管理）戦略に係る費用等を計上しており、前年同期と比べ営業損失が拡大しました。

■国内コンビニエンスストア事業
セブン・イレブン・ジャパンは、現状の売上構成に見合った新しい店内レイアウトの導入および改善に加え、価値ある新商品の発売や継続した商品の品質向上に取り組んだ結果、既存店売上は前年を上回り、セブン・イレブン・チャージ特別減額等の影響はありましたが、営業利益は2,450億88百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

■海外コンビニエンスストア事業
7-Eleven, Inc.は、低収益の既存店舗等の閉店を進め、オリジナル商品の開発および販売に注力した結果、米国内既存店商品売上は前年を上回り、営業利益は1,110億81百万円（前年同期比22.3%増）となりました。また、チェーン全店売上もSunoco LP社の一部店舗取得が寄与したことなどにともなう商品およびガソリン売上の伸長により、前年同期を上回りました。

■スーパーストア事業
イトーヨーカ堂は、衣料と住居の自営売場面積適正化および食品の営業強化など事業構造改革に注力しましたが、既存店売上は前年を下回りました。営業利益は、荒利率向上や販管費の適正化などで47億8百万円（前年同期比53.0%増）となりました。
ヨークベニマルは、即食・簡便ニーズに対応した品揃え拡充に努めましたが既存店売上は前年を下回り、営業利益は128億1百万円（同9.0%減）となりました。

■百貨店事業
そごう・西武は、首都圏大型店舗へ経営資源を集中させる戦略に基づき、そごう横浜店では化粧品等を強みとするビューティー分野をリニューアルするなどの事業構造改革を実施しました。しかし既存店売上は前年を下回り、営業利益は32億66百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

株式の状況 (2019年2月28日現在)

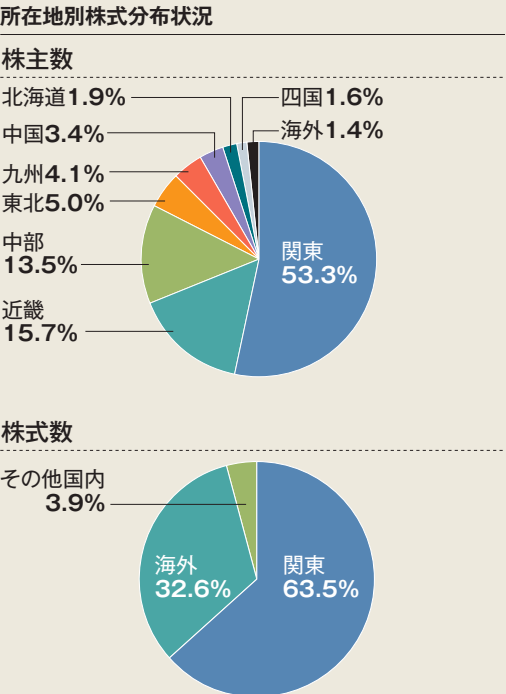
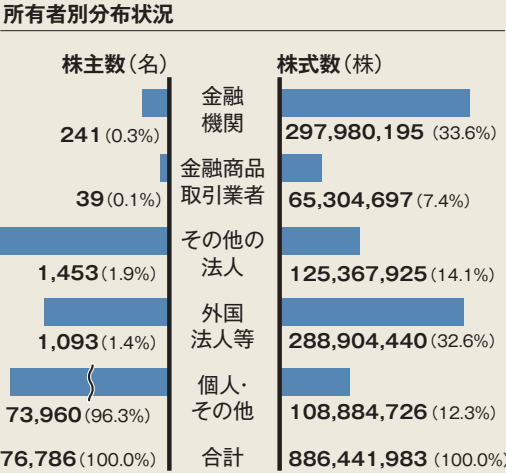
株式の総数	
発行可能株式総数	4,500,000,000株
発行済株式総数	886,441,983株

株主数	
76,786名	

大株主		(千株)	(持株比率)
伊藤興業株式会社	68,901	7.8%	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	64,028	7.2%	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	45,790	5.2%	
SMBC日興証券株式会社	22,364	2.5%	
日本生命保険相互会社	17,672	2.0%	
伊藤 雅俊	16,799	1.9%	
三井物産株式会社	16,222	1.8%	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	16,201	1.8%	
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	13,248	1.5%	
JP MORGAN CHASE BANK 385151	11,862	1.3%	

株式メモ	
決算期	2月末日
定時株主総会	5月
定時株主総会の株主確定基準日	2月末日
配当基準日	2月末日および8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://www.7andi.com/ir/koukoku.html 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

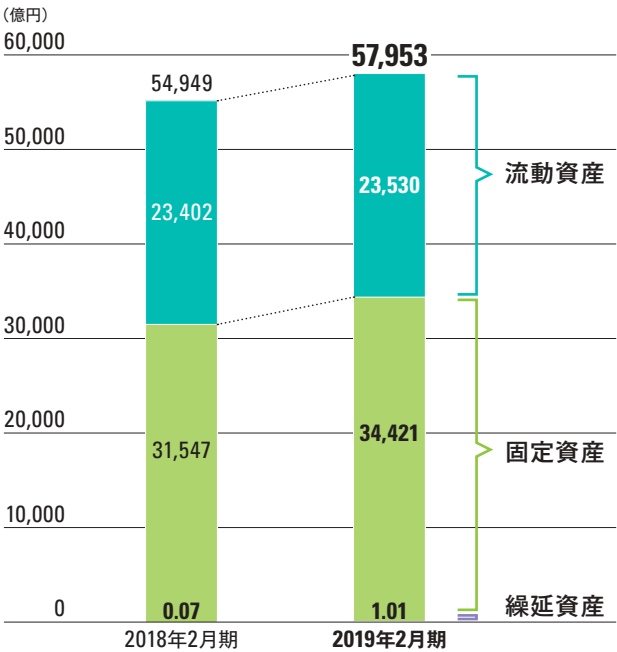
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3382
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)



2019年2月期決算の詳細は、セブン&アイHLDGS. WEBサイト「IR資料室」へ

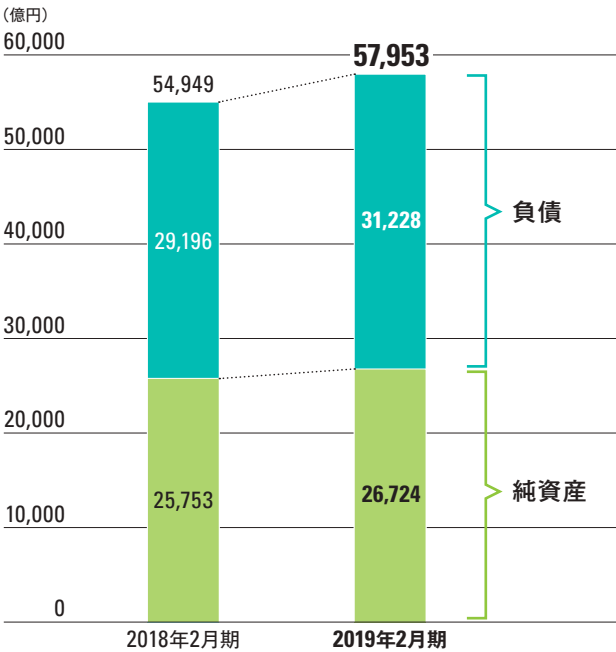
連結貸借対照表

資産合計



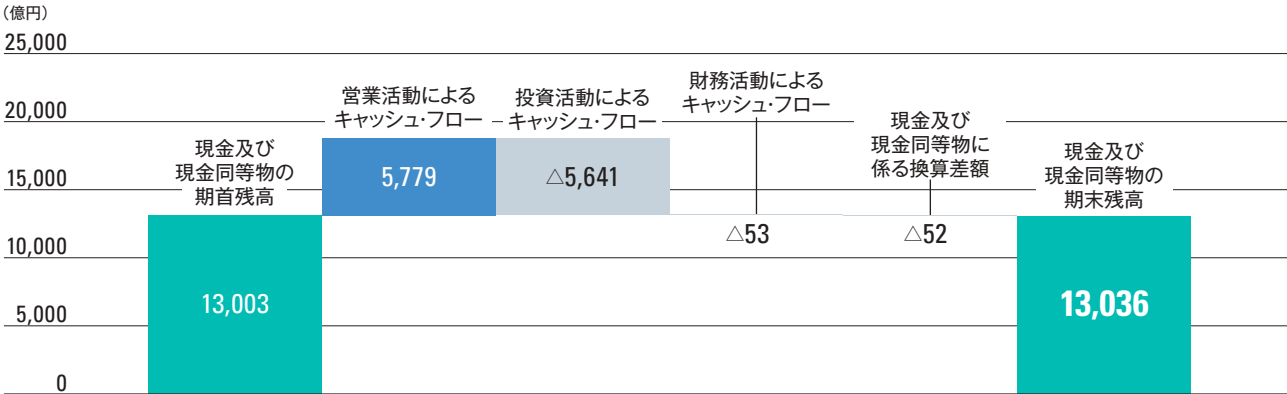
固定資産は、海外コンビニエンスストア事業における7-Eleven, Inc.の積極的な投資にともない、土地および建物に加えのれんなどが増えたことなどにより増加しました。

負債純資産合計



負債は、当社およびセブン銀行による社債の発行や、7-Eleven, Inc.の投資にともなう借入金が増えたことなどにより増加しました。純資産は、主に親会社株主に帰属する当期純利益の増益にともない利益剰余金が増えたことにより、増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等があり、主にセブン銀行における社債の発行等にもない収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に海外コンビニエンスストア事業における事業取得等にもない支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、海外コンビニエンスストア事業における事業取得にともなう借入金の増加や、当社における米ドル建て社債の発行による収入等があったものの、配当金の支払いや当社における社債の償還等にもない支出となりました。以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は期首に比べ32億26百万円増加しました。